

株式会社 群馬銀行

2026年3月期第2四半期
決算の概要

2025年11月10日



損益状況

連結コア業務純益（投信解約損益除き）は、資金利益や非金利業務利益の増加を主因に前年同期比82億円増加の344億円。親会社株主に帰属する中間純利益は前年同期比49億円増加の278億円と2期連続で過去最高益を更新。

決算概要

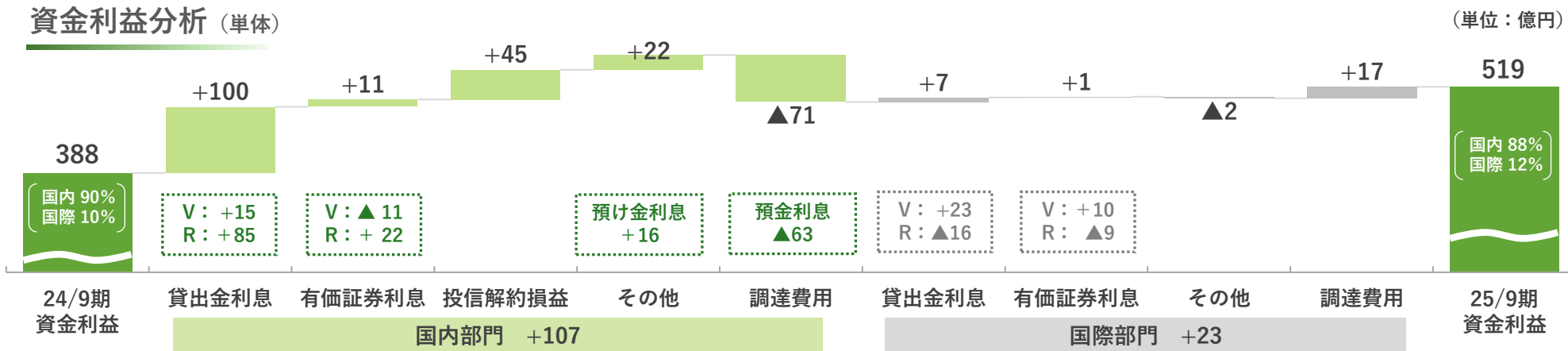
(単位：億円)

<連結>	25/9期	24/9期比	期初計画比
コア業務粗利益	665	145	54
資金利益	516	129	53
投信解約損益	26	45	31
投信解約損益除き資金利益	489	84	21
非金利業務利益	148	16	0
経費	294	18	▲1
コア業務純益	370	127	55
投信解約損益除き	344	82	24
経常利益	405	83	60
親会社株主に帰属する中間純利益	278	49	43
OHR（投信解約損益除き）	46.0%	▲5.3%	
ROE（年率換算）	9.6%	1.6%	

(単位：億円)

<単体>	25/9期	24/9期比	期初計画比
コア業務粗利益	626	141	58
資金利益	519	130	53
投信解約損益	26	45	31
投信解約損益除き資金利益	493	85	22
非金利業務利益	106	11	4
経費	283	17	0
コア業務純益	342	123	57
投信解約損益除き	316	78	26
有価証券関係損益	34	▲30	▲1
与信費用	15	14	▲3
その他	14	0	1
経常利益	375	79	60
中間純利益	257	50	42

資金利益分析（単体）



預貸金の状況

法人預金は貸出シェアに見合った預金取引を推進。高RORAの貸出金は順調に増加、利回りも上昇基調。

預金残高内訳

(単位：億円)

	25/9末	24/9末比	
		増減額	(増減率)
預金等	87,571	2,269	(2.6%)
預金	85,378	2,740	(3.3%)
うち個人預金	57,487	135	(0.2%)
うち法人預金	21,691	1,271	(6.2%)
うち公金預金	3,835	902	(30.7%)
譲渡性預金	2,193	▲ 471	(▲17.6%)

貸出金残高内訳

(単位：億円)

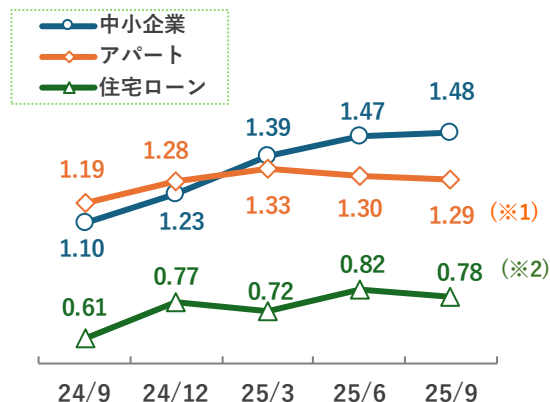
	25/9末	24/9末比	
		増減額	(増減率)
貸出金	70,421	4,411	(6.6%)
大企業	10,849	1,357	(14.3%)
中堅・中小企業	27,091	784	(2.9%)
個人	25,341	742	(3.0%)
うち住宅ローン	14,961	568	(3.9%)
うちアパートローン	6,996	129	(1.8%)
うち無担保消費者ローン	832	77	(10.3%)
クロス・ダ・ローン	2,465	593	(31.7%)
ストラクチャードファイナンス	2,035	521	(34.4%)
海外店	1,620	456	(39.2%)
その他(公共等)	1,017	▲ 44	(▲4.2%)

法人預金の取組み強化 (顧客接点の強化と営業活動の高度化)

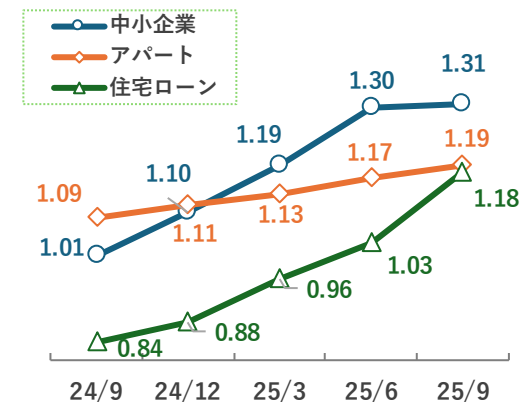
* 大口預金先	譲渡性預金や大口定期預金の金利上乘せ策の推進
* 与信先	貸出シェアに見合った預金取引を推進
* 純預金先	非対面チャネルでの法人IB推進など決済メイン化を促進

利回り状況

(新規実行利回り：%)



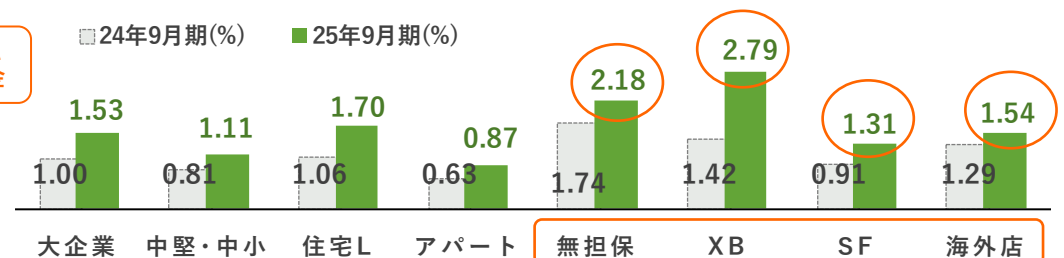
(国内貸出金利回り：%)



※1 変動金利での実行割合増加 ※2 融資手数料型金利プランの下限金利引下げ

貸出先RORA

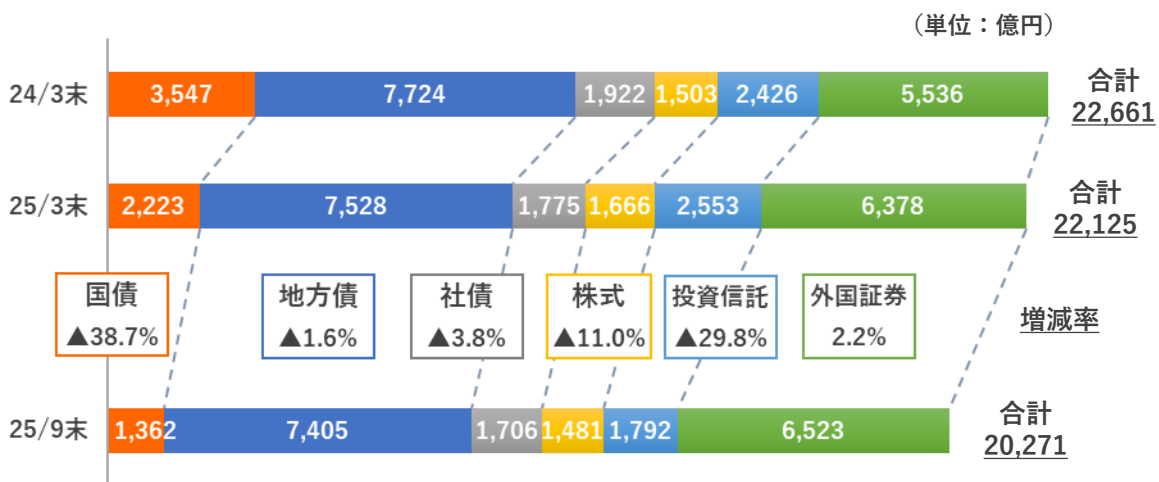
計算式 (資金利益+非金利業務利益-経費-信用コスト)×(1-30.5%)÷RWA



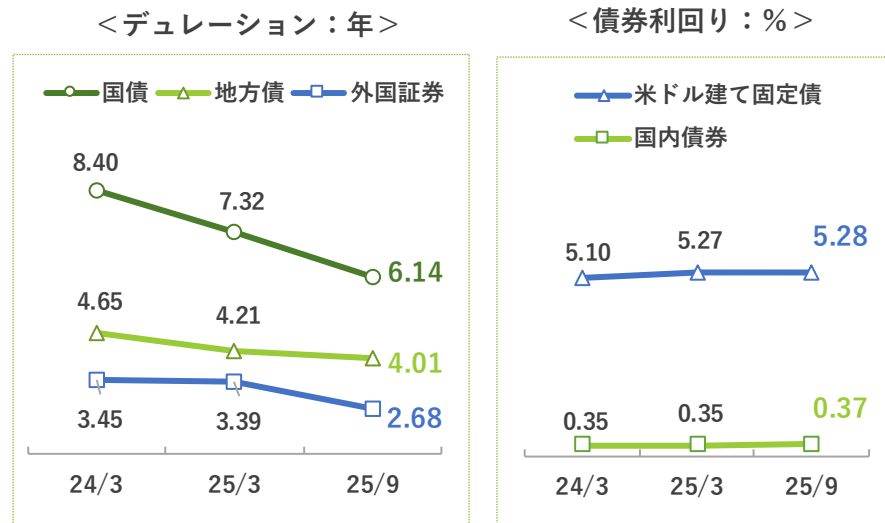
高RORAの貸出金

有価証券の状況

残高 (簿価ベース)



各種指標



評価損益 (BS)

(単位：億円)

	25/3末	25/9末	25/3末比
その他有価証券	▲ 161	196	358
国内債券	▲ 565	▲ 508	56
(国債)	▲ 174	▲ 93	80
(地方債)	▲ 256	▲ 253	3
その他	403	705	302
外国証券	54	106	51
(米ドル固定債)	▲ 12	14	27
投資信託他	▲ 166	▲ 91	74
株式	515	690	175
(政策投資)	590	715	125
(純投資)	▲ 75	▲ 25	50

関係損益 (PL)

(単位：億円)

	24/9期	25/9期	24/9期比
合計 (①+②)	45	60	15
その他有価証券①	64	34	▲ 30
債券関係損益	▲ 81	▲ 65	16
うち売却損	▲ 78	▲ 71	7
(国債)	▲ 53	▲ 71	▲ 17
(外国証券)	▲ 25	—	25
株式等関係損益	145	99	▲ 46
うち売却損益	145	99	▲ 46
(政策投資)	25	67	41
(純投資)	120	32	▲ 88
投信解約損益②	▲ 18	26	45

非金利業務利益

非金利業務利益は前年同期比16億円増加の148億円。

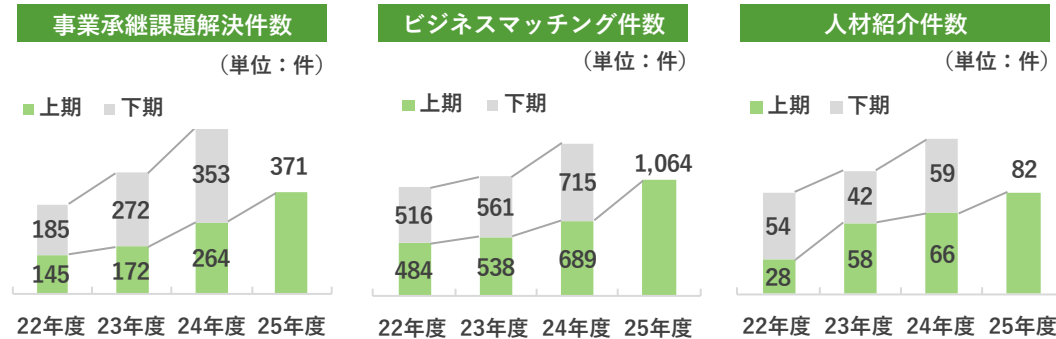
	実績		年間計画	
	25/9期	24/9期比	26/3期	進捗率
連結非金利業務利益	148.7	16.2	290	51%
法人役務収入	51.3	3.0	108	48%
シンジケートローン	10.9	3.9	18	61%
ビジネスマッチング	6.0	1.6	12	50%
M&A	2.6	▲0.4	9	29%
SDGs関連	6.2	3.0	13	48%
デリバティブ	9.6	▲8.2	22	44%
販売用不動産	5.7	0.7	11	52%
ぐんぎんコンサルティング	4.2	1.2	8	53%
コベナンツ融資	2.1	0.2	4	53%
法人向け事業保険	1.2	▲0.2	2	60%
その他	2.4	1.1	5	48%
預かり金融資産等収入	44.7	3.0	102	44%
投信取扱手数料	9.1	▲2.7	20	46%
保険（個人向け）	14.5	1.4	32	45%
ぐんぎん証券	18.2	3.7	43	42%
遺言信託・遺産整理等	2.7	0.6	5	54%
その他	52.6	10.1	80	66%
団信配当金戻入	18.0	6.1	18	100%
ローン保証料	▲36.6	▲1.6	▲73	50%
基盤役務	42.2	1.2	84	50%
その他	29.0	4.3	51	57%

(単位：億円)

法人向けコンサルティング

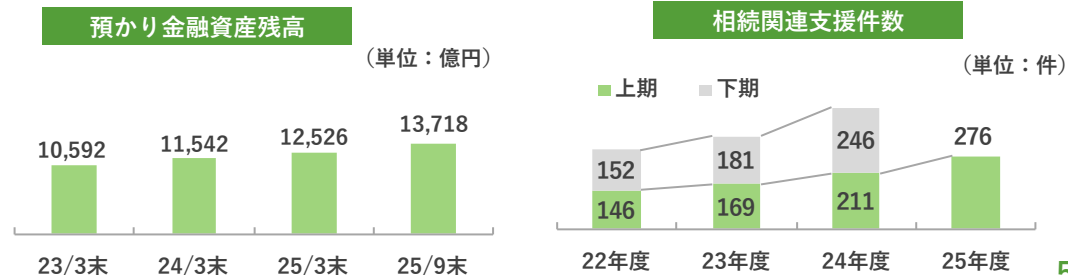
- 顧客ニーズや経営課題把握を起点としたソリューションの提供（つなぐプロセス）は開始から2年半で実施件数は累計10,000先。ニーズ件数は26,000件まで蓄積。

案件化した上位のニーズは人材確保/業務効率化、事業設備の増強、SDGs関連、自社株譲渡、チャンネル開拓、M&Aなど。



個人向けコンサルティング

- 資産形成・資産運用・資産承継に関するコンサルティング業務に特化した営業拠点として、12地区中7地区に地区個人営業部を新設（25年4月）。
- ぐんぎん証券の業容拡大に伴い25年4月に9名、10月に14名増員。11月には当行館林支店内に出張所を設置。営業拠点は県内7・県外1の8拠点へ。



経費 / 与信費用

人件費やキャンペーン、デジタルなど**戦略的投資を強化**する一方で、**OHR**は継続して低下、**与信費用**も低位安定。

経費（連結）の内訳

(単位：億円)

	25/9期	24/9期比	主な増減要因
人件費	154	8	人事制度改定+2、ベア+3
物件費	110	7	広告宣伝費+2.4、外注費+1.7 動産不動産償却+0.4
税金	19	2	外形標準+1.8、消費税+0.9、印紙税▲0.1
子会社	11	1	ぐんぎん証券+1.6、ぐんぎんリース+0.4 ぐんぎんコンサル+0.5、連結相殺▲1.6
合計	294	18	

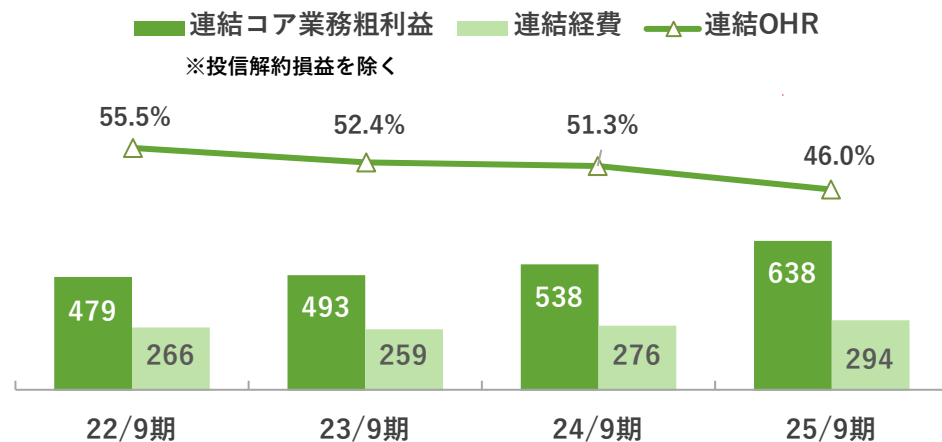
与信費用の内訳

(単位：億円)

	24/3期	25/3期	計画 26/3期	25/9期
与信費用（単体）	6	23	28	15
一般貸倒引当金繰入額	▲15	▲11	▲3	1
実績率変動	▲1	▲2	1	0
DCF	▲9	▲3	2	2
その他	▲5	▲6	▲6	▲1
不良債権処理額	21	37	31	14
ランクダウン	61	63	47	23
回収・ランクアップ等	▲42	▲30	▲19	▲11
その他	2	4	3	2
償却債権取立益（▲）	0	2	0	0

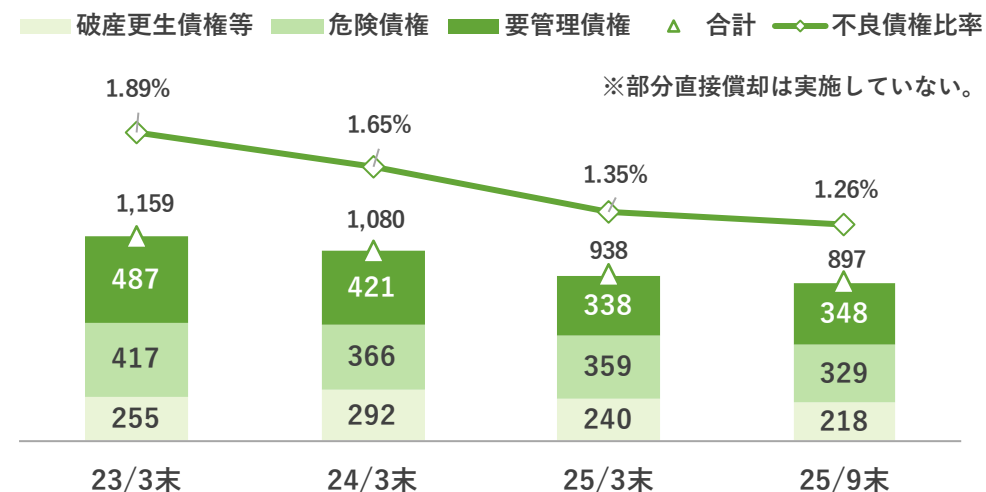
経費・OHRの状況

(単位：億円)



金融再生法開示債権・不良債権比率（連結）

(単位：億円)



業績見通し (2026年3月期)

連結当期純利益は**550億円**、OHRは**47.7%**、ROEは**9.5%**を見込む。

<連結>	(単位：億円)		
	26/3期	前期比	期初計画比
コア業務粗利益	1,290	213	62
資金利益	1,000	179	62
投信解約損益除き	973	126	25
非金利業務利益	290	34	—
経費	603	55	10
コア業務純益	687	158	52
投信解約損益除き	660	105	15
与信費用	33	2	▲7
経常利益	780	160	80
親会社株主に帰属する当期純利益	550	111	60
OHR (投信解約損益除き)	47.7%	▲1.9%	▲0.1%
ROE	9.5%	1.8%	0.9%

<単体>	(単位：億円)		
	26/3期	前期比	期初計画比
コア業務粗利益	1,199	192	62
資金利益	1,008	183	62
投信解約損益除き	981	130	25
非金利業務利益	191	10	—
経費	577	50	10
コア業務純益	622	143	52
投信解約損益除き	595	90	15
有価証券関係損益	114	29	34
与信費用	28	5	▲7
経常利益	720	145	80
当期純利益	510	106	65

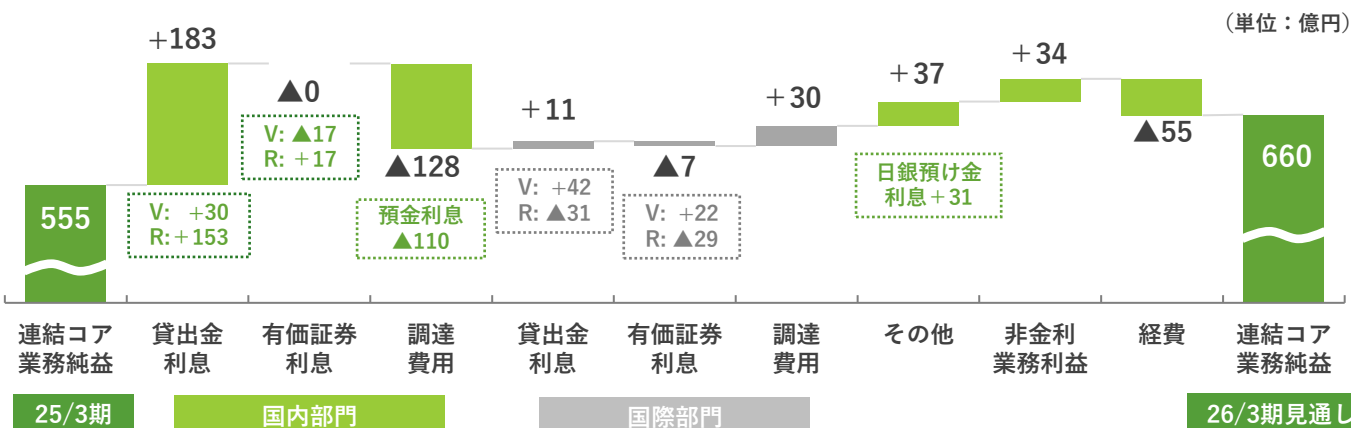
【金利の前提】
追加利上げ26年1月
(0.50%⇒0.75%)

利上げがない場合の影響

※ 資金利益は▲7億円、最終利益は▲5億円と影響は軽微。

(億円)	
資金利益	▲7
国内貸出金利息	▲4
国内預金利息	+5
日銀利息 (NET)	▲6
その他	▲2

連結コア業務純益 (投信解約損益除き) の増減内訳



平残と利回り (単体)

【単体】	26/3期		26/3期	
	平残	増減率	利回	前期比
貸出金	69,699	5.9%	1.43%	0.21%
うち国内	65,174	4.9%	1.23%	0.23%
有価証券	20,786	▲6.3%	2.50%	0.36%
うち国内	14,057	▲11.4%	1.29%	0.47%
預金	85,070	3.4%	0.28%	0.13%
うち国内	83,008	2.9%	0.19%	0.13%

株主還元

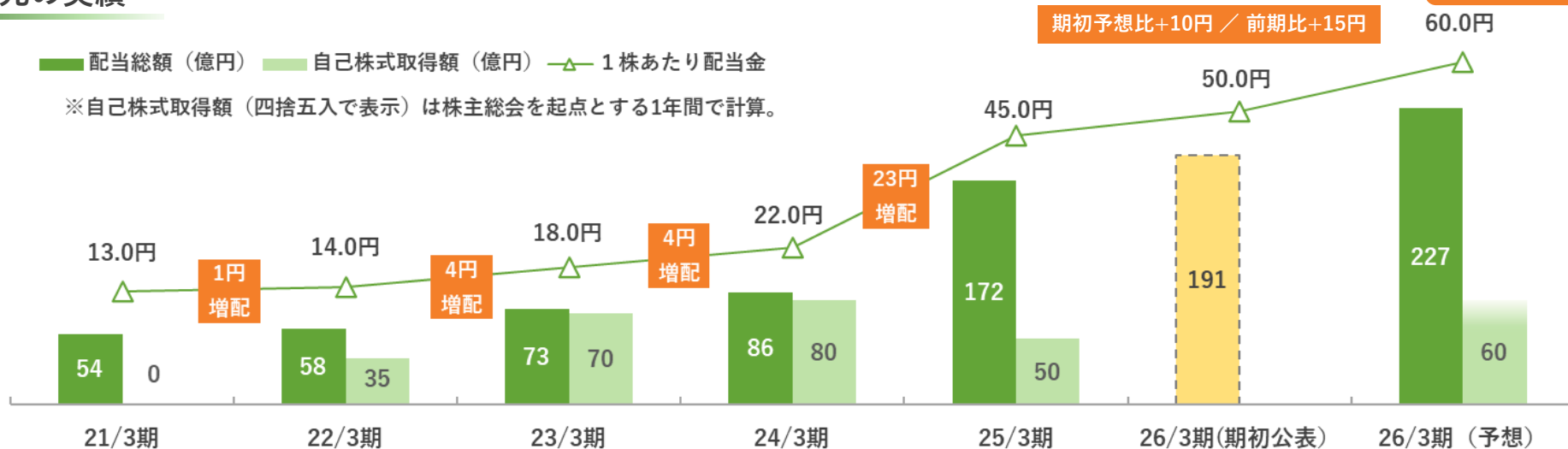
● 1株当たり配当金予想を修正し中間・期末ともに5円増配して年間60円（前期比では15円の増配）。自己株式60億円取得済み。

株主還元方針

配当につきましては、配当の維持または増配を行う**累進配当**を基本とします。配当性向は親会社株主に帰属する当期純利益の**40%を目安**とし、利益成長を通じて増配を実現していきます。また、自己株式の取得は、資本水準や資本効率、成長投資機会や市場動向を踏まえて機動的に実施します。

株主還元の実績

配当金は5年間で4.6倍



株主還元額	54億円	93億円	143億円	166億円	222億円	—	—
総還元率	46.8%	39.9%	51.4%	53.6%	50.7%	—	(52.2%見込)
配当性向	40.4%	22.1%	26.4%	28.1%	39.5%	39.0%	(41.5%見込)
還元方針	総還元率40%目安				配当性向40%目安（累進配当）		
対象利益	単体ベース		連結ベース				

本資料は、情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。本資料に記載された事項の全部又は一部は予告なく修正又は変更されることがあります。

本資料には将来の業績に関する記述が含まれております。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化等により異なる可能性があることにご留意下さい。

本件に関するお問い合わせ先

株式会社群馬銀行 総合企画部（IR担当）

TEL：027-254-7051・7053

E-mail：gbir@gunmabank.co.jp